



専修学校の質の保証・向上に関する調査研究協力者会議

日本電子専門学校 質保証への取組み

平成30年4月26日(木)文部科学省生涯学習局会議室



<本日の内容>

- I. 日本電子専門学校の紹介
- II. 職業実践専門課程 内部質保証
(情報システム開発科の事例)
- III. 第三者評価への取組み

日本電子専門学校
校長 古賀 稔邦

I. 日本電子専門学校の紹介

建学の精神

「電子技術を核とした創造性豊かな

技術者の育成を通して世界に貢献する」 1951年創立

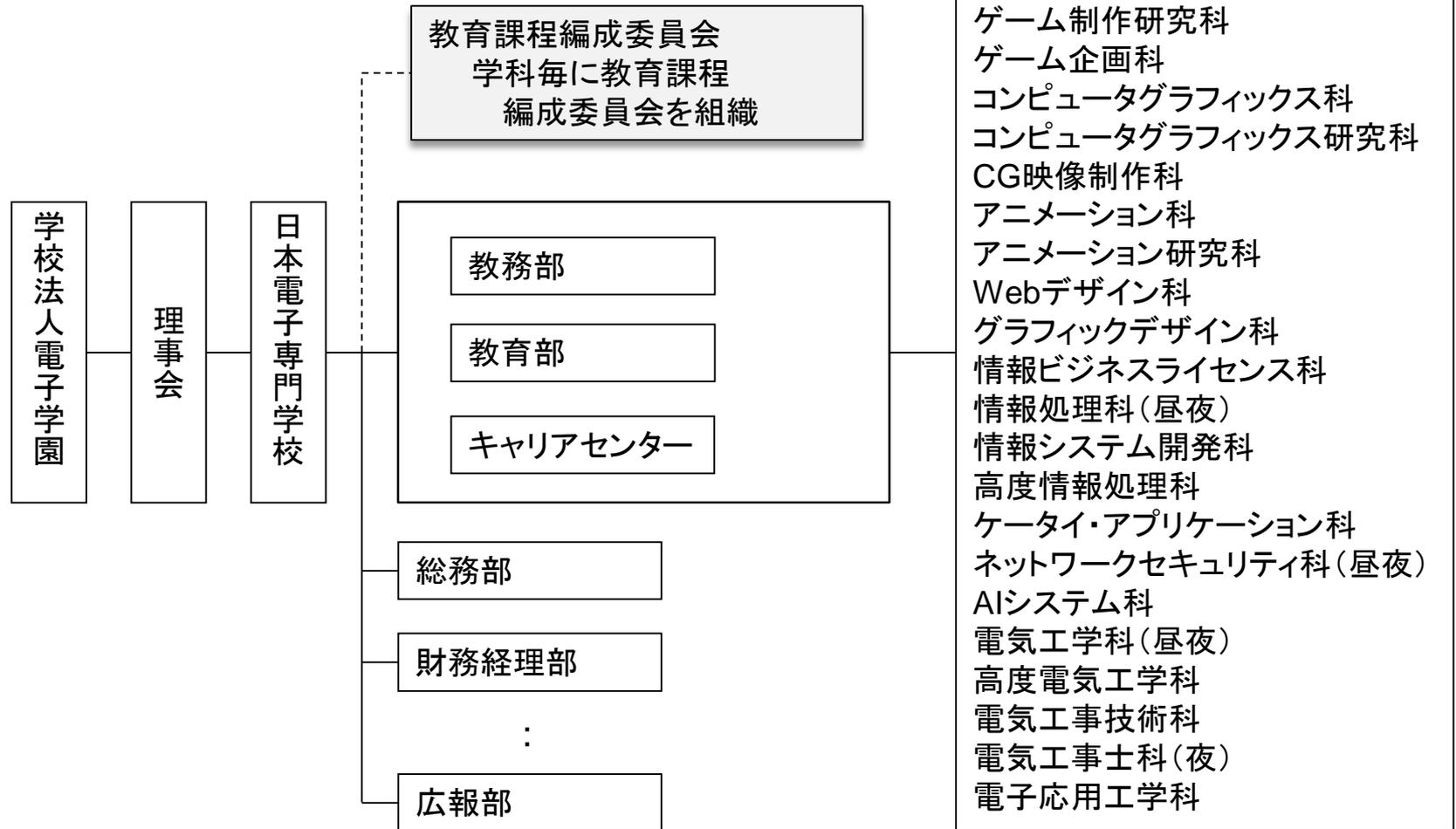


- 所在地 東京都新宿区
本館～12号館
(約50教室 約50実習室)
コンピュータ 約2000台保有
- 設置学科
昼間部：21学科 夜間部：4学科
- 教職員数
専任教員 約90名
非常勤講師 約100名
職員 約60名

<http://www.jec.ac.jp>



組織図・設置学科



職業実践専門課程18学科認定



<最近の話題①>

平成28年度 文部科学省 質保証関連 委託事業成果物

情報公開を活かした専修学校の 質保証・向上に向けて ～専修学校における情報公開実践の手引き～

平成 29 年 3 月
文部科学省委託事業
「職業実践専門課程等を通じた
専修学校の質保証・向上の推進」

1章 2章 3章 4章 参考事例等

参考事例等

参考事例等

事例 1: 公正・正確な情報公開

公正・正確な情報を公開することにより教育の質を向上し、学校の信頼性を高めている。

基本情報

- 学校名
日本電子専門学校（東京都）
- 概要
「職業教育」と「キャリア教育」によるスペシャリストの養成を行っており、6分野（CG・映像、ゲーム、アニメ、デザイン、IT、電気・電子）計24学科を擁する。



取組内容

ホームページでは、入試、資格、就職情報に加え、学習分野ごとに専用ページを開設するなど幅広く情報を公開している。情報を公開する際は、学校の信頼性を高めるため、公正かつ正確な学校情報を公開することを学校の方針としており、そのための取組や体制が整備されている。

取組の特徴

- 取組例 1 学校評価に関する情報公開
「自己評価」「学校関係者評価」「第三者評価」を実施し、評価結果に関わらず、全ての情報をホームページ上で公開している。
- 取組例 2 教育内容の詳細を公開
教育内容の詳細として、科目一覧、カリキュラム（実習時間数や履修年次含む）、科目概要、科目関連図、時間割例等をホームページ上で公開している。
- 取組例 3 情報公開体制の整備
入学者向けの情報公開は広報部、それ以外の情報（財務状況、在籍人数など）は総務部が情報発信するなど情報の権限に応じて担当職員をそれぞれ配置し、情報発信に努めている。また、公開する内容は校長を含む数名体制で精査するなど、チェック体制も整っている。



ホームページ抜粋

取組の成果

公正かつ正確な情報を公開し学内外の評価を受けることで、学校の抱える課題が明確になり、課題改善により教育の質保証につなげるとともに学校の信頼性を高めている。「第三者評価」では、工業系としては唯一2期連続で47項目にわたるチェック基準をすべて満たしている専修学校である（2016年12月時点）。



専門学校等評価基準適用

48



<最近の話題②>

平成29年度文部科学省制作

『未来につながる専門学校』先輩たち

未来を創る専門学校卒の先輩たち

System Engineer

システムエンジニア



野島 洋平 さん (32歳)

元々エンジニアとして働いて
システムエンジニアとして
就職した。現在は、情報システムで勤務するシステムエンジニアとして、それが、今の仕事だ。

日本電子専門学校 情報処理科 卒業

【私が入社した会社は、情報システムで勤務するシステムエンジニアとして、それが、今の仕事だ。これからは最新技術やスキルを身につけて、新しいシステムを開発していきたいです。】

お客様の望むシステムを

最新の技術をコーディネートして

要望以上のものに作り上げる



基本的には、社内でパソコンを使って仕事を進める。しかし、緊急時には、現場にいる河川を管理する職員の状況に合わせ、緊急対応しながら業務を行うことが求められる。

システムに関する知識・技術だけでなく、情報をわかりやすく伝える能力も必要

私は現在、防災関連システムを扱う部署に所属し、河川情報システムの設計・開発に携わっています。

河川情報システムとは、台風やゲリラ豪雨などにより河川の水位が一定基準を超えた際、住民や河川管理者、水防活動に従事する方々のPCやスマートフォンに情報を提供するシステムです。河川の多くは国や県、市町村などが管理しており、それらの自治体が私たちのお客様に当たります。

一言でシステムエンジニアといっても、その立ち位置はさまざまです。基本的には、システムの開発に伴い、お客様の要望を仕様書にまとめる「お客さま寄り」と、その仕様を開発者に伝えるための設計書を作成する「開発者寄り」に分けられます。それについて、私は後者のシステムエンジニアです。

この仕事には、システムに関する知識や技術をもちろんなこと、情報をよりわかりやすく伝える能力も必要です。例えば、ただ「水位が一定基準を超えました」と伝えるだけでは十分な情報とはいえません。逃げればいいのか、特異すればいいのか、住民にとってわかりやすい指示が求められます。どのような形で、どのような指示をするのが適切か、自治体に提案するのでも私たちの仕事です。

その際、やはり経験から得られる知見がものをいいます。2年制の専門学校を卒業し、大学を卒業するより早く経験を積み始めることができたことは、少なからず自分のプラスになっていると感じています。

開発リーダーとして関わったプロジェクトがグッドデザイン賞を受賞

入社してから、最初は先輩の指導のもと、システムの一部の開発などに携わり、5年目に入って、はじめてプロジェクトリーダーを任されるようになりました。防災システムは人の命を守る仕事です。担当の履行に貢献して1週間から10日かけてシステムの最終チェックを行うのも自分です。リーダーになって、その責任の重さを一層感じながら緊張感を持って仕事に臨んでいます。

プロジェクトメンバー全員で作上げたシステムを、「本場に導入してよかった」とお客様から褒めていただけることが、この仕事における一番の喜びです。2016年、私がリーダーを務める開発チームが関わった「石川河川川越合情報システム」のプロジェクトが、「グッドデザイン賞」を受賞しました。よりわかりやすく情報を提供するため、ウェブデザイナーをメンバーに揃えて開発するという新しい試みを提案して実現したものです。デザイナーと一緒に作り上げた情報デザイン、ひいてはシステム全体が社会から高く評価されました。お客様からも「使いやすい」と喜んでいただき、「あのシステムはどこの会社で作ったのか?」と物陰からの問い合わせもあったほど評判になったことうれしかったですね。

これからはAI技術をはじめとした新しい技術を取り入れて、システムを進化させていきたいと考えています。その実現のために、最新の技術情報を積極的に収集し、さまざまな情報にアンテナを張り、あらゆるチャンスを見逃さずよう心がけています。

no 02

Ⅱ. 職業実践専門課程 内部質保証

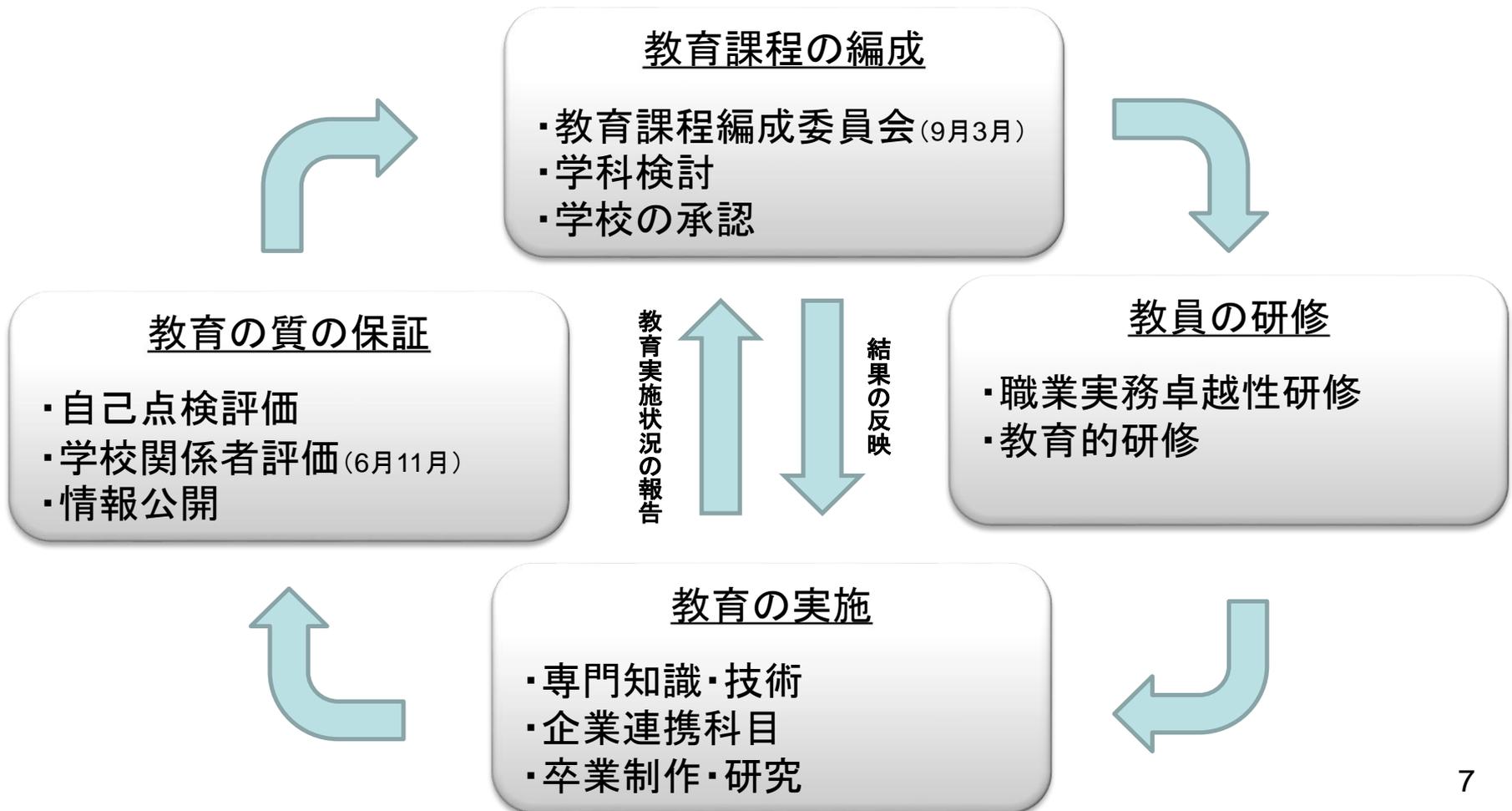
(情報システム開発科の事例)



ETロボコン東京地区大会 競技部門 優勝(平成29年9月)



内部質保証





事例紹介 情報システム開発科

■目的 情報システム開発企業と連携し、業界のニーズや最新の技術動向、プロジェクトマネジメントなどを学ばせることにより、実務に即したシステム開発の実装技術と全工程を管理する能力を持ったエンジニアの育成をする。

■分野：工業、課程名：工業専門課程

■就業年限：2年、総授業時数：1770、講義：960、実習：810

■就職状況：主な就職先、業界等

NTTデータ・アイ、セゾン情報システムズ、JR東日本情報システム、TEPCOシステムズ 等システム開発業界、IT業界

■卒業者に占める就職者の割合 100 %

■主な資格・検定等

応用情報技術者、基本情報技術者、UML技術者資格、
オラクル認定Javaプログラマ、オラクルマスター

■中退率：6.1%



情報システム開発科 企業連携科目

■科目名:卒業制作

■基本方針

システム開発の全工程を管理できるシステムエンジニアを育成するため、情報システム開発企業と連携し、Java言語を使ったプログラミング手法や、チーム開発のマネジメントに関わる指導を受け、最新の技術を身に付けることを基本方針とする。

■科目概要

現場でプロジェクトマネジメント業務に携わっているエンジニアより、スケジュールの立案についてのポイント、チームマネジメントに必要な技能、知識の指導を行う。また、作成したシステム・スケジュール・設計書についてレビューを通して指導を行い、最後は作品評価を行う。

■連携企業

NECネクサソリューションズ株式会社



情報システム開発科平成26年度第2回「教育課程編成委員会」

■日 時 平成27年3月5日 14:00～16:00

■学外委員

成井 弦	LPI-Japan
板見谷 剛史	CompTIA
山本 直樹	株式会社ヴァル研究所
松島 太	株式会社TSOne

■学内委員

古賀 稔邦	校長
杉浦 敦司	教育部 部長
佐々木 卓美	教務部 部長
船山 世界	キャリアセンター センター長
大川 晃一	情報システム開発科 科長



■議題 履修言語について

現状の学科カリキュラムでは、2年間で履修する言語を以下のように設定している。

言語名	期間	目的・概要
C言語	半年	初学者向け基礎アルゴリズム習得のため。基本情報技術者のアルゴリズム問題の対策も兼ねている。
COBOL	半年	基本情報技術者の資格指導のため。基本情報の午後問題はCOBOLを選択。
VisualBasic	1年	イベントドリブン型言語の履修のため。（プログラミングの楽しさ）
JavaScript	半年	レスポンスなWebシステムの構築のため。卒業制作で実装するシステムのフロント部分を実装させる。
PHP	1年	Webシステム実装のため。卒業制作の実装言語（Bグループ）
Java	1年半	Webシステム実装のため。卒業制作の実装言語（Aグループ）

言語は実装方法の1つであり、2年間の限られた時間で、あまり多くの言語を履修すべきでないといった意見もある。現在の言語それぞれに目的を設定しているため、単純に絞ることはできない。

上記の表から全体像を見渡して、履修すべき言語のご意見を頂きたい。



■ 議題に関する学外委員からの意見

- ・現在の開発現場で最も多く使用されている言語は、Javaであろう。
- ・C言語は、プログラミングを学習する上で基本となる言語である。
- ・プログラム未経験者の新入社員向けのカリキュラムを作成して行っている。
その際に使うのはRubyである。専門学校の卒業制作のような内容で、企画からシステムの完成までやらせる。
- ・実際のシステム開発業務で、VisualBasicやRubyはあまり使われていない。
- ・大規模な案件だとやはりJavaだろう。
- ・COBOLもまだニーズはある。
- ・新しい設計手法であるアジャイル開発の考え方は、学生時代に触れておくとよい。

■ 教育課程編成委員会でのご意見を学科へ持ち帰り検討した結果

- ・開発企業からのVisualBasicに対するニーズは低いため教育課程から外し、履修する言語数を減らし、Javaの内容をより深く設定するとともに、最新の設計手法や技術動向について履修する時間を設ける。
- ・平成28年度からの教育課程に反映する。



情報システム開発科平成26年度「教員の研修」

職業実務卓越性研修

1. Struts2によるWebアプリケーション開発
2. エンタープライズJavaScript
(プロトタイプ、関数オブジェクト、jQueryの利用)
3. ネットワークスペシャリスト対策

教育的研修

1. 魅力ある教員について(グループワーク)
2. 失敗しない学校苦情・クレームに対する心得
3. ファシリテーション研修
4. 学生用LIFOライセンス研修

教育課程の改訂

No.	平成28年度	時間	平成26年度	時間
1	CSS&JavaScript	60	CSS & JavaScript	30
2	Java基礎	150	Java基礎	120
3	Java応用	60	Java応用	90
4	サーバサイドJava	90	サーバサイドプログラミング	90
5	オブジェクト指向設計	60	オブジェクト指向設計	30
6	セキュリティ	30		
7	資格対策言語講座Ⅱ	30		
8	先端IT技術	60		
9			情報数学	30
10			Windowsアプリケーション	60
11			システム開発概論	30
12			データベースプログラミング	60
	計	540	計	540

教育課程編成委員会での意見をもとに学科にて検討した。

26年度までVisualBasicで行って「Windowsアプリケーション」「データベースプログラミング」を廃止、28年度では、「Java基礎」「サーバサイドJava」「オブジェクト指向設計」「資格対策言語講座Ⅱ」などJava系科目を充実、合わせて「セキュリティ」「先端IT技術」などの先進的科目を設定した。

この教育課程を学校が承認し、28年度実施した。



平成27年度第1回「学校関係者評価」

日 時：平成27年7月7日13:00～17:00

委員構成：企業：9名、業界団体：5名、卒業生：2名、
保護者：2名、地域住民：1名、高校教員：3名
日本語学校教員：1名、在校生：3名 計：26名

実施内容

全体会：平成26年度自己評価の学校からの報告
自己評価項目毎の委員の評価
平成26年度の学校運営全般に対する意見
分科会：平成26年度学科状況の報告
学科担当委員からの意見



平成27年度第1回「学校関係者評価」分科会 情報システム開発科

■出席者

学校関係者評価委員

乗浜 誠二 株式会社ナレッジコンサルタント 代表取締役

満岡 秀一 一般社団法人 Open Embedded Software Foundation 理事

渡辺 登 株式会社アフレル事業企画室 室長

大川 晃一 情報システム開発科 学科長

■教育課程の改定に関する説明に対する委員からの意見

- ・Javaを使った案件も多いが、業務系の案件にはMicrosoftの需要は高い。
そのため、C#やVisualBasicの案件も根強く残っている。
- ・エンタープライズ市場での案件の数を、あえて比較するのであれば、
VisualBasicよりもJavaの方が多いただろう。
- ・COBOLの案件はあまり見ないが、金融系ではまだまだ需要があるのでは。

■学校関係者評価委員会からの意見も反映させて、

28年度より予定通り教育課程の改定を行う。



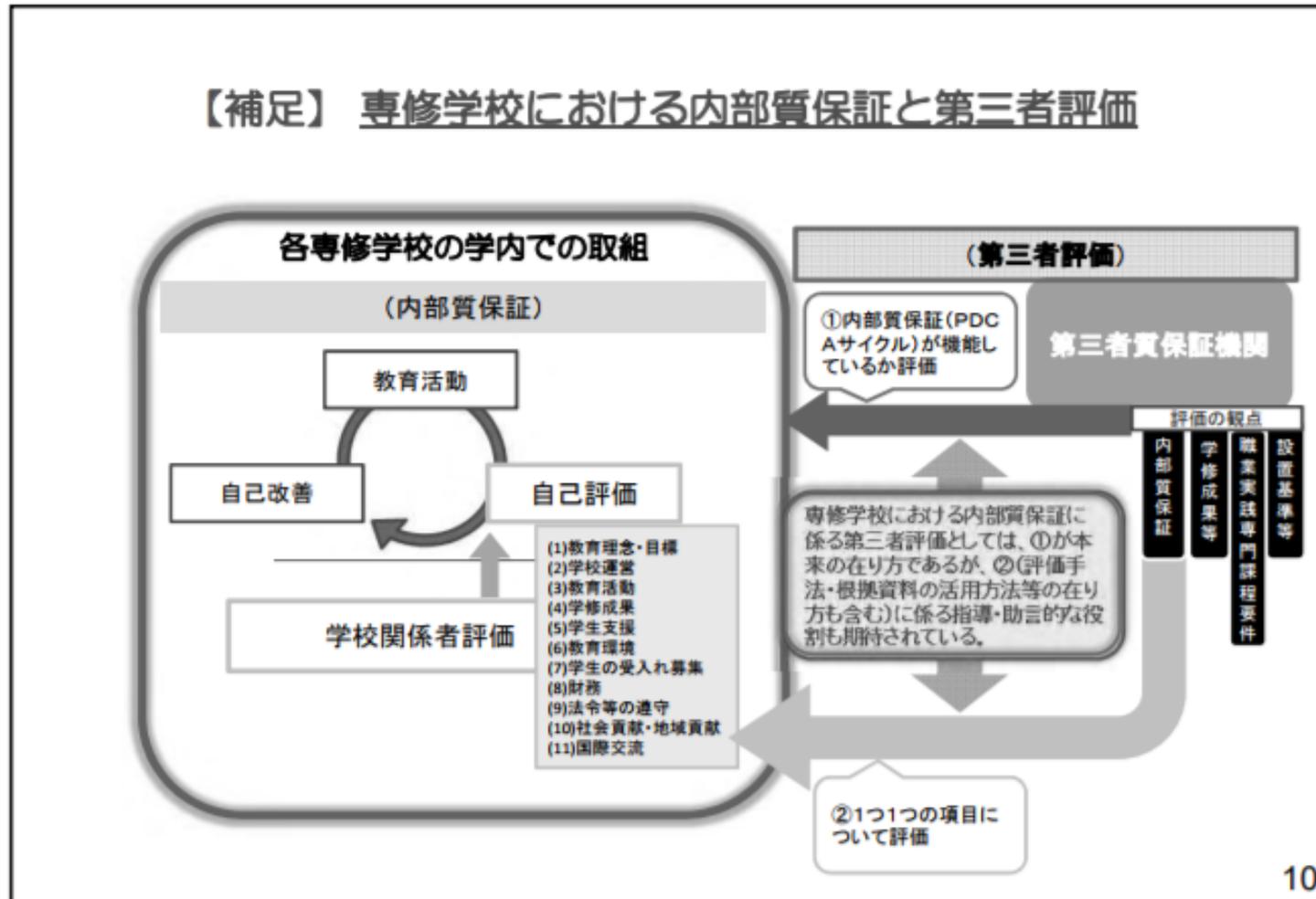
Ⅲ. 第三者評価への取組み



第8回 Device 2 Cloudコンテスト 優勝(2017年12月)

文部科学省資料 内部質保証と第三者評価

【補足】 専修学校における内部質保証と第三者評価



日本電子専門学校 学校評価のあゆみ

平成17年 東京都専修学校各種学校協会にて専門学校の
「自己点検・自己評価 推奨項目」作成に協力

平成18年 第三者評価の「モデル評価」実施

平成19年 「第三者評価」実施 「自己評価」毎年実施

・

平成24年 「第三者評価」2回目実施

平成25年 「学校関係者評価」毎年実施

・

平成29年 「第三者評価」3回目実施

私立専門学校等評価研究機構
第三者評価 修了の証





第三者評価結果の活用

- ホームページ、パンフレットなどによる告知(PR)
- 募集イベント時の保護者、高校教員、国内外の教育関係者等に説明。

『日本電子は、第三者評価制度で、日本で唯一 すべての基準を満たした工業系専門学校です。』

日本電子は第三者評価制度において日本で唯一すべての基準を満たした工業系専門学校です。

全国の専門学校は2,995校^{※1}。そのなかで「教育理念」「育成人材像」「教育環境」「教育成果」「学生支援」「学校運営」「財務」といった、第三者評価制度の全47項目の基準をすべてクリアしたのは本校が唯一です^{※2}。これは、世界に通じる人材を育成し、優秀な卒業生を輩出してきた歴史と伝統、そして向上心が認められた証なのです。

※1 平成19年度文部科学省学校基本調査速報より、専門学校を指定する学校数。
※2 平成20年6月時点

専門学校等評価基準Ver.1.0適用

『第三者評価』とは・・・
本校、学校教育の質は、第三者によって評価されるべきものです。第三者による評価は、本校の教育活動の質を向上させるために、専門学校の評価の指標として実施されています。第三者によって「教育の質」を評価する目的は、教育の発展に貢献すること、公正かつ公平な評価システム構築と普及活動を最優先としています。

私立専門学校等評価研究機構から発表される第三者評価は、「JEC」プレスからご覧ください
<http://www.jec.ac.jp/college-news/images/report.pdf>

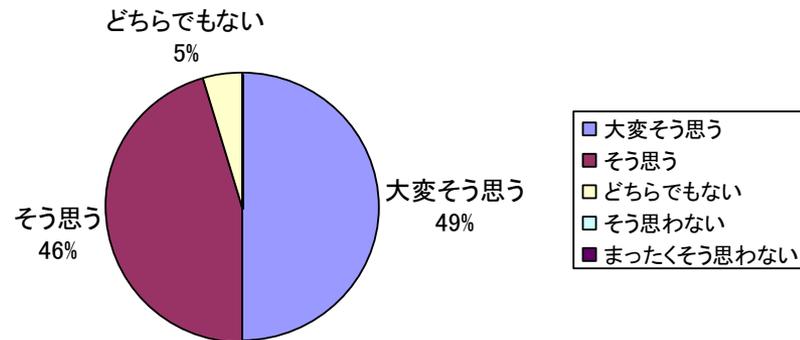
学校法人 電子学園 日本電子専門学校 〒169-8522 東京都新宿区百人町 1-25-4 ☎ 0120-00-9691



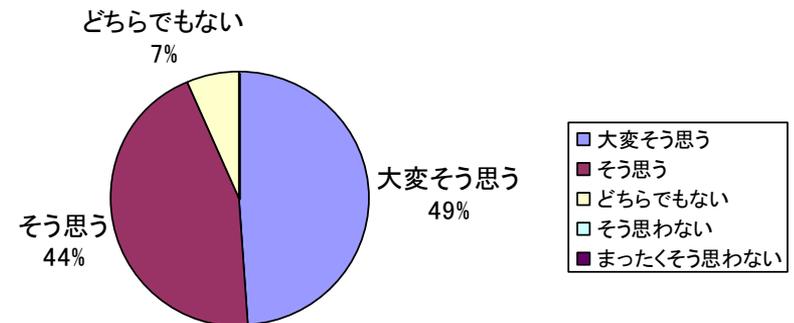
高校教員の反応

平成22年夏1都3県の高校教員(151名)を招いた研修会で行ったアンケート結果より

第三者評価を受けることは、その学校の信頼に繋がるといいますか



専門学校も積極的に第三者評価を受けるべきだと思いますか

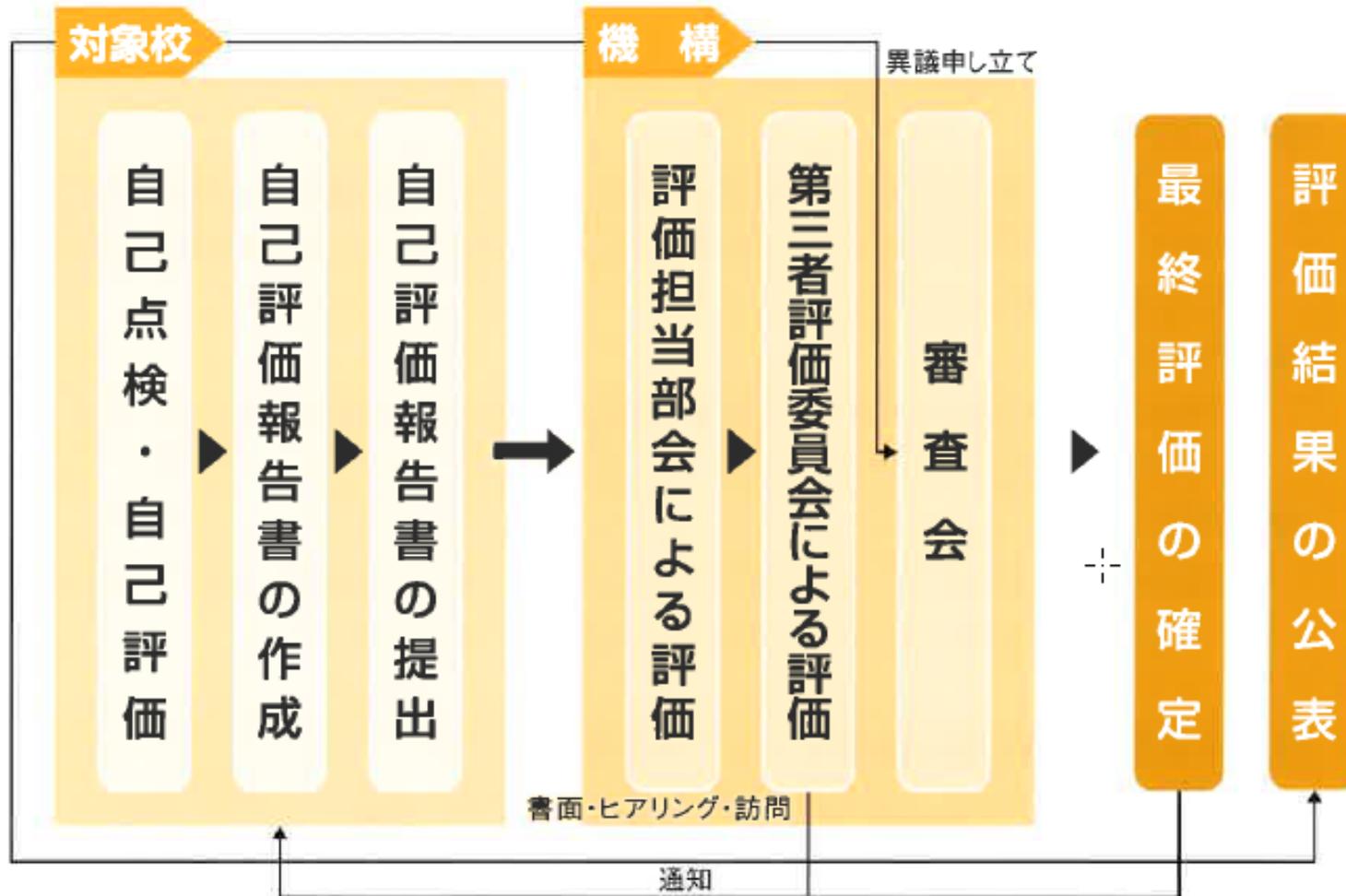


< 専門学校の第三者評価に対する高校教員の自由記述(抜粋) >

- 専門学校は、広告が派手なところも多く、生徒はそれにつられるけれども、実際は学費が高かったりと、いろいろ問題も多いようであるので、客観的な評価基準があると、生徒はもちろん、保護者や教員にとってありがたいと思う。(埼玉県立 Y教諭)
- 専門学校の第三者評価の認知度、実施度をさらにあげていただいて、専門学校選びの基準になるようにしていただけると、進路指導の際に役立つと思われる。(神奈川県立 N教諭)
- 専門学校を選ぶ一つの基準になろうかと思えます。(千葉県立 F教諭)
- 数多くの専門学校がある中で、高校の教員が生徒の進路指導をする際に、一つの目安として考えることができるのかなと思います。(東京都立 T教諭)



第三者評価の流れ





自己評価報告書の作成

【3】専門学校

Ⅱ 点検項目（中項目）の分析

たとえば方針、現状、現状までのプロセス、有様として会議したい点、今後の課題となることなどを、小項目、評価の観点、チェック項目を参照し、可能な限り中項目に記述して記入（点検項目毎2000字以内）

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

- 【1-1】理念・目的・育成人材像は定められているか
- 考え方・方針
- 現状とそのプロセス
- 成長として目指したい点
- 今後の課題

■自己評価

参照資料名記述欄

「専門学校等評価基準」の小項目・評価の観点・チェック項目を参照のうえ、分析結果をわかりやすく、明確に記入する。5000字以内

根拠となる資料・データ等は状況説明等との関係が容易に確認できる位置に記載し、出典を必ず明記する。

各中項目の分析結果をふまえ、自己評価を2000字以内で記載する。

記述内容を確認する資料名を必ず記載する

以下同様に37の点検項目毎にそれぞれ記載する。



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

私立専門学校等評価機構 評価項目 Ver.4.0

大項目	中項目	
基準1 教育理念・目的・育成人材像等	1-1	理念・目的・育成人材像
基準2 学校運営	2-2	運営方針
	2-3	事業計画
	2-4	運営組織
	2-5	人事・給与制度
	2-6	意思決定システム
	2-7	情報システム
基準3 教育活動	3-8	目標の設定
	3-9	教育方法・評価等
	3-10	成績評価・単位認定等
	3-11	資格・免許の取得の指導体制
	3-12	教員・教員組織
基準4 学修成果	4-13	就職率
	4-14	資格・免許の取得率
	4-15	卒業生の社会的評価
基準5 学生支援	5-16	就職等進路
	5-17	中途退学への対応
	5-18	学生相談
	5-19	学生生活
	5-20	保護者との連携
	5-21	卒業生・社会人

大項目	中項目	
基準6 教育環境	6-22	施設・設備等
	6-23	学外実習・インターンシップ等
	6-24	防災・安全管理
基準7 学生の募集と受け入れ	7-25	学生募集活動
	7-26	入学選考
	7-27	学納金
基準8 財務	8-28	財務基盤
	8-29	予算・収支計画
	8-30	監査
	8-31	財務情報の公開
基準9 法令等の遵守	9-32	法令、設置基準等遵守
	9-33	個人情報保護
	9-34	学校評価
	9-35	教育情報の公開
基準10 社会貢献 地域貢献	10-36	社会貢献・地域貢献
	10-37	ボランティア活動

評価項目 37項目

私立専門学校等評価研究機構「評価実務者研修」資料より



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

情報公開ページ

人と仕事を「学び」で結ぶ
日本電子専門学校 ▶ 入学情報へ
 東京・新宿の工業系専門学校

よくある質問 お問い合わせ 交通アクセス

▶ 在校生の方へ

▶ 卒業生の方へ

学園情報トップ

ごあいさつ

特色ある教育

教員と講師

本学の概要

情報公開

プレスリリース

▶ 第三者評価 ▶ 自己評価 ▶ 学校関係者評価 ▶ 職業実践専門課程の基本情報

学園情報トップ > 情報公開

情報公開



第三者評価 2012-2016
(専門学校等評価基準 Ver.3.0)

▶ 第三者評価

日本電子は第三者評価制度において日本で唯一すべての基準を満たした工業系専門学校です。



日本電子専門学校

▶ 自己評価

日本電子専門学校は自己評価に取り組み、教育活動そのものの質の向上および学校運営の改善・強化を行なっています。



▶ 学校関係者評価

学校関係者評価は、学校関係者の学校への理解促進と連携協力により、学校運営の改善を図ることを目的としています。



文部科学省

▶ 職業実践専門課程の基本情報

職業実践専門課程に認可されました。



第三者評価報告書

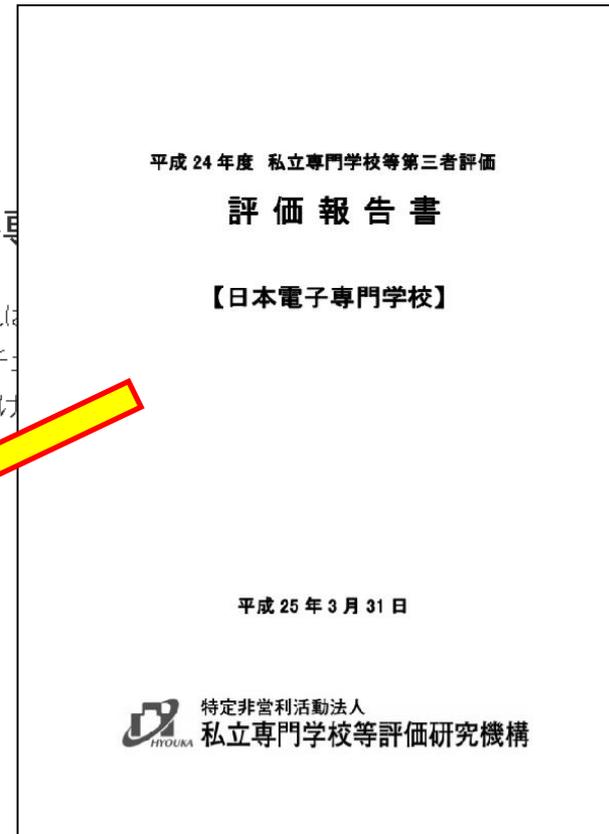
情報公開

第三者評価 Third party Evaluation

日本電子は第三者評価制度において
日本で唯一 すべての基準を満たした工業系専

本来、学校教育の質は第三者によって評価されるべきものです。これは
2007年よりスタートした制度で、本校は2期連続で47項目にわたるチ
専門学校約3,000校の中で全基準を満たした工業系専門学校は本校だけ

平成24年 私立専門学校等第三者評価 (PDF形式) 



第三者評価修了 2012-2016
(専門学校等評価基準Ver.3.0)

第三者評価に取り組んでいる意義

- ・質保証の一環
- ・ステークホルダーからの信頼獲得
- ・募集広報的な活用

5年に1回更新

ご清聴、ありがとうございました。



ASIAGRAPH 2017 in Tokyo アニメ分野
最優秀賞、優秀賞等 受賞(2017年11月)